

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立あさひワークホーム	所管課	障害福祉課
所在地	韮崎市旭町上條南割3294	設置年月日 (改築年月日等)	昭和58年5月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨県障害者援護協会、平成18年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	機能訓練室、食堂、会議室、浴室、居間(4室)、静養室、トラックヤード、第1作業棟、第2作業棟、休憩・更衣室、製品置き場、居室(50室)、事務室、厨房、倉庫等 就労移行支援(30名)、就労継続B型(30名)、施設入所支援(40名)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用者に対するサービス業務 ・就労移行支援・就労継続B型・施設入所支援 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	○山梨県立あけぼの医療福祉センター (重症心身障害児入所(60)・通所(15)、肢体不自由児入所(20)・通園(10)) ○山梨県立育精福祉センター (障害者支援施設:生活介護(105)、施設入所支援(90)) (知的障害児施設(70))
-------------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	利用者数(入所)	49	48		
	利用者数(通所)	21	20		
	就労移行支援			29	29
	就労継続支援B型			26	26
	施設入所支援			42	42
	利用者数合計	70	68	97	
	目標値				
	目標値設定の考え方	良質なサービスの提供を図る指標として、施設が利用者一人ひとりに作成している個別支援計画の達成度合いがあるが、障害者の障害程度が異なり、個別支援計画の目標達成度合いを一律に1年間で評価することは難しいことから、年度ごとの具体的な目標管理は出来ない。			
	対19年度比	100.0%	96.7%	137.4%	0.0%
	稼働率	101.4%	95.6%	97.0%	97.0%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	126,882,715	131,700,000	138,703,443	132,200,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	48,060,462	13,995,000	22,953,475	21,990,000
	収入合計(A)	174,943,177	145,695,000	161,656,918	154,190,000
支出	人件費	78,803,874	78,420,000	76,527,668	86,890,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	72,937,751	67,275,000	50,520,697	67,300,000
	(うち外部委託費)(B)	12,871,281	1,710,000	1,248,312	
	支出合計(C)	151,741,625	145,695,000	127,048,365	154,190,000
収支差額(A-C)		23,201,552	0	34,608,553	0
外部委託比率(B÷C)		8.5%	1.2%	1.0%	0.0%
利用者一人当りの経費		0	-	0	-

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年2月~22年3月、 実施方法:利用者へのアンケート、 回答数:40人
-------	--

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備管理	75.0%	17.5%	7.5%	0.0%
行事等	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
食事面	82.5%	17.5%	0.0%	0.0%
入浴支援	77.5%	22.5%	0.0%	0.0%
健康管理面	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
利用者のケア	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%
金銭管理	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
その他	82.5%	17.5%	0.0%	0.0%
各項目の平均	77.8%	20.6%	1.6%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・通所者用の休憩室が出来てうれしい。 ・居室内のサッシや網戸から隙間風が入る。 ・食事はとてもおいしく頂いている。 ・入浴は夕食後の時間を利用してゆっくりと入りたい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩室は自己資金によって整備し、利用者から好評を得ている。 ・施設の老朽化等の問題については、利用者からの要望を随時受入れ修繕を行った。 ・利用者からの意見や要望が適切に反映できるよう、毎月の給食委員会を開催した。 ・利用者の介助度に合わせて、時間差による入浴支援を実施している。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果概ね適性の実施されているが、個別支援計画におけるモニタリングの実施、及び計画の見直しについては早急に改善を行うこと。 今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	平成21年度より、韮崎市・北杜市・南アルプス市と日中一時支援事業を、また韮崎市とは相談支援事業についても契約を締結し在宅障害者への支援を行ったが、事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	自主事業申請(業務計画書)どおり適正に実施されている。
利用状況	各サービス事業とも年間を通じて概ね事業計画を上回る利用実績を上げている。 ・自立訓練(機能訓練)100% ・生活介護97.9% ・施設入所支援100.4% ・短期入所139.2%	ホームページの更新を行い、施設利用の促進のためのPRに努めている。今後も引き続き関係機関との連携も含め、努力されたい。
収支状況	収入はやや減ったが、節電等の徹底により経費の節減に努めた結果、収支差額は増加した。	コスト削減により、効率的な運営・管理が行われた。 引き続き同様の経営が実現できるよう努力をすること。
利用者満足度	ほとんどの項目で利用者より「満足している」との回答が出ている。今後においても利用者の視点に立ったサービスの提供に心をかけていく。	概ね維持管理業務・運営業務に関して満足を得られているので、今後においても利用者のサービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	個別支援計画の見直しが実施出来ていなかったが、利用者ニーズを把握しサービスの向上に努力したため、良質なサービスの提供はなされた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	①施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。 ②経費削減に努めるとともに、サービス利用に繋げる努力が実り増収となった。 ③利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。 ④平成22年度は、一層の利用者サービス向上に取り組むこと。また、個別支援計画におけるモニタリングの実施、及び計画の見直しについては早急に改善を行うこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	①新法への移行初年度の中でも経費削減等により単年度収支が黒字となった。 ②新たなサービス利用者の確保を行うとともに経費削減に努力する。 ③利用者個々のニーズに対応できるよう努力していく。 ④サービス提供における客観的な評価や計画の見直しについて改善を行いながら実施しているが個別支援計画の見直しについても8月末までに全員の作成を行っていく。	

山梨県立あさひワークホーム 組織図

